



買い物が応援に！ deleteC、スーパーマーケット「サミット」とコラボ
9/1～サミット全123店舗で「deleteC 大作戦 2024 in サミット」実施！
＜サントリー、日清食品、日本製紙クレシア、花王、森永製菓、湖池屋など31社207商品が協力＞



deleteC 大作戦 2024 in **サミット**

「買い物」が応援に！

みんなの力で、がんを治せる病気に。

対象商品1つ購入につき1円が、がん治療研究に寄付されます。

今年は31社・207商品が対象！

実施期間 2024/9/1～9/30 対象 サミット123店舗

認定NPO法人 deleteC（デリート・シー/代表理事：小国士朗）は、ふだんの暮らしの中で、がん治療研究を応援するカジュアルソーシャルアクション※の一つとして、関東エリアを中心にスーパーマーケットを展開するサミット株式会社（代表取締役：服部哲也）とタッグを組み、2024年9月1日（日）～9月30日（月）の期間中、買い物ががん治療研究の応援につながる「deleteC 大作戦 2024 in サミット」をサミット全123店舗にて実施します。

※カジュアルソーシャルアクション（以下、CSA）とは、「ふだんの暮らしの中でできることから始めるかろやかなアクション」です。

deleteC 大作戦 2024 では、「毎日が CSA」をスローガンに掲げ、サミットにおいては、寄付対象商品を菓子、加工食品、デリー品、家庭用品に拡大し、サントリー食品インターナショナル株式会社、花王株式会社、日本製紙クレシア株式会社、森永製菓株式会社、株式会社湖池屋、味の素株式会社など31社・207商品が協力。期間中は商品を購入すると1円の寄付ががん治療研究の寄付につながる商品が並びます。

deleteC とサミットとのコラボレーションは昨年開始。従業員1万人を巻き込んだ啓発活動や、1商品1円の寄付につながる deleteC 特設棚を設置するなど、買い物をするだけで、がん治療研究の応援に気軽に参加できる、スーパーマーケットを通じた新たな CSA のアクションが生まれました。実際に活動に取り組んだ店長からは「がんは店舗社員もお客様も実は身近な問題で、でも何かしたくても出来ないもどかしさがある。それが毎日の買物を通じて何か出来るコトって、みんなに届くんじゃないかという思い。これを真っ直ぐに店舗社員に伝えたらたくさんの社員が参加してくれました。今年も思いを伝え、みんなで参加します。」といった声も届きました。

さらに、同時期に開催される、投稿が応援につながる「#deleteC 大作戦」にも参加し、サミット各店舗のアカウントを通じて、買い物が応援につながるアクションの発信や SNS 投稿アクション参加企業・商品についても情報発信しこの活動を盛り上げます。

期間中にあつまった想いと寄付は、deleteC の医療公募・選考会を経た医師・研究者にお届けします。寄付先の発表は 2025 年 2 月 9 日（日）に開催する「deleteC 2025 -HOPE-」を予定しています。

deleteC は、がんを治せる病気にする日を一日も早く手繰り寄せるため、誰もが参加できる CSA を通じて、この取り組みを広く根付かせます。

サミット 服部代表 応援メッセージ

「一人の百歩より百人の一步」。ニデック株式会社の永守さんの名言です。超人的な一人の人間の大きな前進に頼るのではなく、普通の人たちの小さくとも前に進もうという志の総和が大きな成果に繋がる、といった意味だと思います。

deleteC の取り組みが素晴らしいのは、この言葉を意味をも超え、“百人の一步”が“一人の百歩”に繋がる、つまり「癌を治せる病気にするための一人（研究者）の百歩」を「多くの賛同者の小さな一步」で支援していくという点にあると思います。

「一人の百歩“を”百人の一步で支援する」こと。それを「特別」なことや「一時的」なことではなく、「普段」「日常」にしていくこと。そして、それを一人でも多くの人々に知って頂くこと。

私たちの生業であるスーパーマーケットは、まさに「日常」「普段」であり、多くのお客様が来店されることは、「一人でも多くの人に知って頂く」ことに繋がる様に思います。

9 月から始まる「deleteC 大作戦」、サミットは全社を挙げて応援していきます。是非、皆さまもご協力頂ければと思います。

概要

- 企画名 : deleteC 大作戦 2024 in サミット
- 店舗数 : サミット全店舗 123 店舗 (<https://www.summitstore.co.jp/store/>)
- 実施期間 : 9 月 1 日（日）～9 月 30 日（月）
- 実施内容 : 買い物ががん治療研究の寄付につながる「deleteC 大作戦」をサミット全 123 店舗にて実施
- 寄付の流れ : サミットでお買い上げいただいた対象商品 1 つにつき 1 円が deleteC に寄付されます。
- 対象商品 : 約 207 商品 ※商品の取り扱い店舗によって異なります。
- 特設 HP: <https://www.delete-c.com/post/2024/sp/summit>

【参加企業名 参考】あいうえお順

- ・アサヒ飲料株式会社
- ・旭化成ホームプロダクツ株式会社
- ・味の素株式会社
- ・株式会社 医食同源ドットコム
- ・エースコック株式会社
- ・江崎グリコ株式会社
- ・エスビー食品株式会社
- ・大塚製薬株式会社
- ・株式会社おやつカンパニー
- ・花王株式会社
- ・カルビー株式会社
- ・株式会社グラフィコ

- ・株式会社湖池屋
- ・サンスター株式会社
- ・サントリーフーズ株式会社
- ・株式会社ジャパックス
- ・株式会社中村屋
- ・日清シスコ株式会社
- ・日清食品株式会社
- ・日本製紙クレシア株式会社
- ・ハーゲンダッツ ジャパン株式会社
- ・ハウス食品株式会社
- ・株式会社 バスクリン
- ・マルハニチロ株式会社
- ・三井農林株式会社
- ・株式会社明治
- ・森永製菓株式会社
- ・森永乳業株式会社
- ・UHA 味覚糖株式会社
- ・ユニ・チャーム株式会社

【代表的な一部商品】

サントリー	C.C.レモン 500mL
日清食品	カップヌードル
花王	アタック ZERO
日本製紙クレシア	スコッティティッシュ 5個パック
森永製菓	ハイチュウ
湖池屋	カラムーチョクラッシュ ホットチリ味
味の素	クックドゥ

サミットについて

サミット株式会社（本部：東京都杉並区、代表取締役社長：服部哲也）は、1都3県（東京都・埼玉県・神奈川県・千葉県）にスーパーマーケット「サミットストア」123店舗と衣料品店「コルモピア」34店舗をチェーン展開しています。

日々の食事の材料である生鮮食品や加工食品に加えて、店内製造の自慢のお総菜等も豊富に取り揃えるとともに、日常生活に必要な非食品も併せて提供することで、地域の方々の暮らしに寄り添います。鮮度感・ライブ感のある店内、心の通い合うサービスや便利な「サミットアプリ」など、毎日のお買物が楽しくワクワクするお店を目指します。

deleteC 大作戦 2024 のスローガン「毎日が CSA！」

いつでもどこでも
かろやかにがん治療研究の応援ができる。
それが、カジュアルソーシャルアクション（CSA）

世代や立場をこえて、
誰でもできる。

投稿するだけで、買うだけで、
いろんな方法でできる。
ひとつひとつは小さな営みでも、

あつまって、重なって、広がれば、
「がんを治せる病気にする」という
未来を手繰り寄せることができるはずだから。

ふだんの暮らしが、応援になる。
できることから、かろやかに、はじめよう。

deleteC 代表理事小国士朗メッセージ

5年目を迎える「deleteC 大作戦」。去年までは「SNSの投稿をするだけで応援につながる」アクションを展開していましたが、今年は60を超える企業が参画し、一気に4つのカジュアルソーシャルアクション（CSA）を同時に大展開することになりました。「投稿する」だけ「買う」だけ「歩く」だけ「学ぶ」だけ。いずれも誰もが軽やかにできる“動詞”を大切にしています。

あまりにも大きな課題、テーマを前にするとどうしても足がすくんでしまって、「何かをしたい！」という思いがあってもなかなか一歩が踏み出せないものです。でも、カジュアルソーシャルアクションは、ふだんの暮らしの中で誰もが当たり前に行っている“動詞”ばかりですから、気負うことなくずっと一歩が踏み出せると思います。

以前、ある中学生がこんなことを言ってくれました。「deleteCと出会って、自分にもできることがあったんだと思えるようになりました」。いい言葉だなと思います。一人ひとりの力は微力かもしれませんが、たくさんの「自分にもできることがあった」が重なるときっと大きな力になっていくと信じています。

今年のスローガンは「毎日がCSA!」です。毎日、どこかで、なにかのアクションががん治療研究の応援につながる1か月です。ぜひ一緒に、想いをのせて、軽やかにアクションをしていけたら嬉しいです。

deleteC について

deleteCは、誰もがふだんの暮らしの中でがん治療研究を応援できる仕組みをつくり、がん治療研究への寄付と啓発につながるカジュアルソーシャルアクションを通じて、1日でも早く「がんを治せる病気にする日」を手繰り寄せることに貢献することを目的に、2019年に設立。2022年には、認定NPO法人として、東京都に承認されました。

具体的には、プロジェクトに参加する企業・団体が自身のブランドロゴや商品、またはサービス名からCancerの頭文字である「C」の文字を消したり、deleteCのロゴやコンセプトカラーを使うなどし、オリジナル商品・サービスを企画・提供します。購入金額の一部はdeleteCを通じて、医師・研究者が推進するがん治療に寄付（※）としてお渡しし、市民もがん治療研究の応援に参加できる仕組みをつくっています。

毎年秋には「deleteC 大作戦」と題し、投稿・拡散、買い物、歩く、学びなど4つのCSAを通じて、がん治療研究を応援。2月には「deleteC -HOPE-」を開催し、がん治療研究を推し進める医師・研究者に寄付をお渡しします。

寄付先となるがん治療研究については、公募を実施し、がん臨床試験の専門的知見を有する医師のほか、プロジェクト参加企業、deleteC医療リサーチチームといった多様な視点を持つメンバーで選考委員会を構成し、公正なる審査のもと、寄付先を決定します。現在は、参加企業・団体200社を超える方々に支持されており、これまでに小児がん、子宮頸がん、胃がん、肺がん、乳がんなどの臨床専門医や基礎研究者、リサーチナースなど10名の医師・研究者に総額4,000万円以上を支援しています。

（※）寄付金は、がん治療研究及び、啓発コンテンツ制作費などdeleteCの活動に充てられます。

取り組みのきっかけ

日本では、毎年 100 万人前後が新たにがん罹患し、生涯 2 人に 1 人はがんにかかり、4 人に 1 人が命を落とすと言われていています。早期診断・治療の時代が到来したものの、がんは相変わらず国民の死亡原因第 1 位です。

このようながんを治せる病気にするために、日本のみならず世界の研究者達が日々研究を続けています。

deleteC は、医師・研究者の方々と対話を重ねる中で、その一つひとつの研究こそが、現状を変え、数年後、10 年後の未来を変える「希望の種」だと気付きました。がん診療・がん治療研究に携わる医師から deleteC に「研究がなければ治療は始まらない」、「砂粒のような研究の積み重ねが大きな山を作る」、「今進めている研究が 3 年後、5 年後、未来のがんを治せる病気にする希望につながる」、「生きたいと願う患者さんの想いにこたえたい」など、多くの声が寄せられています。

治療研究の着実な積み重ねにより、不治の病と言われていたがんの治療成績は年々向上しています。手術や放射線治療技術の進歩に加えて、1990 年以降に分子標的薬が、2010 年代なかばには免疫チェックポイント阻害剤が登場し、近年では患者の遺伝子・細胞等を分析し、個々人に最適な治療法が選択できる「精密医療 (Precision Medicine)」が現実のものとなりつつあります。しかし、いまだ治療選択が極めて限られるがんも存在し、治せないがんも残っています。また、欧米で使える薬、治療法が国内では使えない場合があるといった課題や、日本のがん研究の予算が欧米に比べて少ないといった課題があります。

deleteC は、このような医師・研究者の想いや現状を受け止め、誰もがふだんの暮らしの中で、がん治療研究という「希望の種」を応援できる仕組みを作り、「がんを治せる病気にする日」を一日でも早く手繰り寄せるため、活動を進めています。

※「最新がん統計」国立研究開発法人国立がん研究センター

https://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/stat/summary.html

【法人概要】

- 団体名 : 認定特定非営利活動法人 deleteC
(2022 年 9 月 22 日交付・認定番号 4 生都管第 703 号)
- 設立 : 2019 年 9 月 5 日
- 代表 : 代表理事 小国士朗
- 事業内容 : (1) ロゴ等を活用したがん啓発事業
(2) がん啓発イベント事業
(3) がん医学研究に対する寄付・助成事業
(4) がん医学研究に関する事業提供・啓発事業
(5) その他その目的を達成するために必要な事業
- 支援の方法 : <https://www.delete-c.com/support>
HP : <https://www.delete-c.com/>

本件に関するお問い合わせ :

認定 NPO 法人 deleteC 広報 山口恵子 yamaguchi@delete-c.com

サミット株式会社 広報部 kouhou@summitstore.co.jp